

木村喜芳会長エレクト 地区研修協議会について

今年度の地区研修協議会は、例年のように多くの委員長や財団関係者が参加する形式ではなく、会長・幹事のみを対象としたコンパクトな形で開催されました。土曜日の昼から始まり、最初に古野重幸ガバナリエレクトより、次年度の方針について説明がありました。古野ガバナリーは1974〜75年にロータリー青少年交換学生としてオーストラリアへ1年間留学され、高校生活の一部を海外で過ごされた経験を持ちます。お父様がロータリアンで、その勧めもあって留学を決意されたとのことでした。早稲田大学を卒業後はトヨタ自動車に勤務し、1980年代の日米貿易摩擦が激化する中、アメリカとの交渉に携わった2名の代表のうちの1人として活躍されたことが紹介されました。曰く本車への反発が強く、車が燃やされるような厳しい時代に、最前線に对应された貴重な経験をお持ちです。その後、お父様のご逝去を機に家業である自動ドア関連企業に入り、現在のフルテック株式会社として事業を展開させました。自動ドアと聞くと玄関のイメージが強いですが、工場の冷凍庫用ドアや防犯機能付きドアなど、多様な分野で事業を展開しているとのことでした。

今年のテーマは「Discover Your Joy in Rotary」。ロータリーに参加する喜びを見出し、それを価値や目的として捉えようという呼びかけで

す。例会での出会いや友情が人生を豊かにするという話があり、ロータリーの魅力を改めて感じる内容でした。伊藤会長が成田先生や宮岸さんや富士山へ行かれたというお話を聞き、長い友情がロータリーの中で育まれていくのだと実感しました。地区の重点事項としては、クラブ基盤の強化、特に会員増強（純増150名、女性会員の増加）、奉仕活動の推進、公共イメージ向上が掲げられています。深川クラブでも遠藤委員長を中心に、新たな社会奉仕・青少年奉仕の事業を模索しており、地域に求められる活動を継続して考えていきたいと思えます。

続いて福井バストガバナリーより「クラブ会長の役割と責務」について講義がありました。今回の研修では事前のオンライン学習が義務化され、会長の基本を10講座ほど学ぶ必要があります。会長の資格として、リーダー性、活動に時間を割けること、委員長や幹事経験、定款の理解、地区大会等への参加経験が挙げられました。ロータリーが100年以上続いてきた理由として、四つのテストや奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップといった価値観を守り続けてきた点が強調されました。

会長はオーケストラの指揮者のように、最前方向性を示し、メンバーの力を引き出す存在であると説明されました。幹事はコンサートマ

スターとして、指揮者と奏者をつなぎ、実務を整える役割とされ、清水幹事に重なる部分も多いと感じました。分科会では大西ガバナリー補佐のグループに入り、各クラブの意見交換を行いました。次年度地区大会は10月11日、札幌のカナモトホールで開催され、茂木健一郎氏による「脳科学から見るAIの未来」の講演が予定されています。

翌日は危機管理セミナーが行われ、ロータリーは地域のリーダーで構成されるため、高い道徳性と社会的責任が求められると説明されました。交通災害、自然災害、事故、病気、暴力行為、ハラスメント、個人情報漏洩など、好ましくない事態すべてが危機管理の対象とされています。

地区補助金の事例紹介では、室蘭クラブの海洋ごみ収集体験、室蘭東クラブの能登半島地震ボランティア支援、留萌クラブの走り方講習会などが紹介されました。また、メコン川流域でのリサイクル教育支援のグローバル補助金事業も報告され、参加学生の体験発表がありました。

米山セミナーでは、戦後の反日感情の中で「本当の日本を知ってもらいたい」という思いから米山奨学事業が始まった歴史が語られました。世話クラブ制度による交流の重要性が強調され、留学生からの発表も行われました。



深川 RC

例会運営委員会

会長 伊東 由紀夫 会長エレクト 木村 喜芳 副会長 寺島 康宏
幹事 宮澤 孝 副幹事 清水 秀晃 会計 廣上 晃士

委員長 長谷川幸央
副委員長 飛弾野貴広

深川 RC

■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
プラザ深川3 F TEL (0164) 34-6228
■ URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/> ■ Mail fukagawa-RC@club502.jp
■例会日 毎週火曜日
■姉妹クラブ 南海RC (韓国)
■第2510地区第1グループ